

# 工事を中止して、話し合いを

## 行政代執行は止めよ

小田 先日、長崎新聞で、知事や市長のインタビューが掲載され、それぞれの見解が述べられていた。

その中で知事は、「話し合いのためなら工事中断も」とする考えが示されていた。一方で、土地の明け渡しについて

では行政代執行も手段のひとつとして排除しておらず、工事も中断されることなく続けられている。話し合いをする

気持ちがあるのであれば、工事を中断し、真摯な姿勢を住民に示すべきではないでしょうか？

また、市長はインタビューの中で、行政代執行の請求について、「市民や議会が求めるならば」との発言をされている。これはいったいどのよう

な意味でしょうか？  
市長 長い年月をかけて多くの話し合いを重ねてきた結果、約8割の住民の方々にご理解をいただけてきたところ



付替県道工事中止の申し入れ(2020年12月16日)

しかし、残る住民の方々には、私自身も、幾度も現地に足を運び呼び掛けてきたが、話し合いのテーブルにもつ

ていただけない膠着状態が続いたことから、土地収用法に基づく事業認定申請に至った。

事業の進め方については、長崎県が主体的に判断するもの。本市としては、大方の市民の意見として議会から何らかの要請等があれば、それは長崎県にきちんとお届けし、県ご当局的判断を仰ぎますという

ことを意図して発言したものの。

小田 明け渡し期限から1年が経過したことを振り返る意味も含めて、工事の中断や住民との話し合い、行政代執行への見解等、今後の石木ダム事業について、長崎県の判断としてではなく、佐世保市長としてどのように考えられ

るのか、市長の見解を求めています。市長 ウイズコロナの中で求められる公衆衛生の役割や、疲弊した市民生活や地域経済の中での渇水の影響を考えると、事業の必要性・緊急性は高いので、引き続き、本市の実情を県に伝え、県ご当局的判断を仰いでいく。

小田 佐世保市も共同起業者の一人であるわけですから、より主体的な意見や考えを示しても良いのではないかと。地元住民との話し合いを望まれるのなら、県に対して工事中断をしても話し合いを実現するよう、佐世保市から主体的意見を述べていただきたい。

## 政府に核兵器禁止条約の批准を求めるべき

小田 核兵器の開発、保有、使用を禁じる核兵器禁止

条約を批准した国と地域が発行の要件となる50に達し、条約は来年1月に発効される。

日本は唯一の被爆国であり、広島県、長崎県は被爆地である。長崎県下の首長として、核兵器禁止条約の批准に対して、また、核兵器禁止条約が来年1月22日に発効されること、日本政府が賛同しないことに対しての市長の見解を求めます。

市長 先の9月定例市議会において「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准

を求める意見書」の提出を求める請願が提出されましたが不採択となっている。

日本政府の考えとしては、「核兵器を直ちに違法化する条約に参加すれば、米国による核抑止力の正当性を損ない、国民の生命・財産を危機にさらすことを容認することにもなりかねないこと、また、この条約は、現実に核兵器を保有する核兵器国のみならず、日本と同様に核の脅威にさらされている非核保有国からも支持を得られておらず、核軍縮に取り組む国際社会に分断をもたらしている点も懸念されることから、現実

の安全保障上の脅威に適切に対処しながら、地道に、現実的な核軍縮を前進させる道筋

を追求することが必要であり、核兵器保有国や核兵器禁止条約支持国を含む国際社会における橋渡し役を果たし、現実的かつ実践的な取組みを粘り強く進めていく考え」ということであります。

小田 禁止条約への参加を求める意見書を採択した自治体は、500に迫ろうとしています。世論調査では7割の国民が、日本が禁止条約に参加すべきだと答えている。

政府には唯一の戦争被ばく国として地球上の核兵器廃絶にむけて主導的役割を果たすこと、また、市長ご自身が核兵器禁止条約へ署名していただくことを願って質問を終わります。

### 市民から12月定例議会に出された請願

請願項目	共産	自民	市民クラブ (国民・社民)	公明
国に対し「消費税率5%への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願書	○	×	×	×

### 小田のりあき市議が12月議会で反対した議案

2019年度国民健康保険事業特別会計決算	更なる国保税の引き下げと子供の均等割免除を求める
介護保険事業特別会計決算	市民や医療者に大幅な負担増を押しつけ、必要なときに必要な介護を受けられない状況に追いやられている
後期高齢者医療事業特別会計決算	75歳を過ぎると医療を別枠にして、負担が重くなる仕組みになっており、制度そのものに問題がある
競輪事業特別会計決算	公営ギャンブルに反対
一般会計決算	石木ダム建設やIR(カジノ)事業へ支出をしている